



地球にやさしい容器 18リットル缶

18リットル缶って何？



特徴

18リットル缶は一斗缶、石油缶とも呼ばれている鉄製の容器です。持ち運びやすいことや、他の容器に比べて安価であること、鉄製のために丈夫であることがメリットです。

用途

年間約1億5千万缶（平成24年度）が、様々な製品をつくるための化学原料、塗料、インキ、醤油や食油などの食品を充てんするために利用されています。

利用場所

出荷された18リットル缶は、工場、店舗、家庭など、様々な場所で使用されています。

18リットル缶は、なぜ地球にやさしいの？

流通している**ほとんどの18リットル缶がリサイクル**されていることが、調査により判明しました。18リットル缶の素材が鉄であり、また**生産から回収・リサイクルまでのルートが確立されている**ことが、高い割合でリサイクルが可能となっている理由です。
※詳しくは、裏面をご覧ください。

原料供給

化学原料メーカー



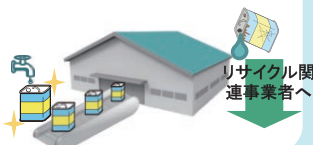
18リットル缶流通量の約12%を利用



製品の充てんに利用
中身を利用、利用後にリサイクル業界に引渡し

製品製造

塗料メーカー



リサイクル関連事業者へ

18リットル缶流通量の約40%を利用

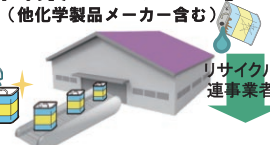
インキメーカー



リサイクル関連事業者へ

18リットル缶流通量の約9%を利用

試薬メーカー等



リサイクル関連事業者へ

18リットル缶流通量の約5%を利用

食品・食油メーカー



リサイクル関連事業者へ

18リットル缶流通量の約33%を利用

製品ユーザー

塗装業者



リサイクル関連事業者へ

印刷業者



リサイクル関連事業者へ

大学・研究機関



リサイクル関連事業者へ

食品加工メーカー 飲食店等

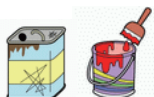


リサイクル関連事業者へ

18リットル缶を利用する事業者等

リサイクル関連事業者

廃塗料処理業者



廃棄された塗料（18リットル缶入り塗料を含む）を適切に処理する事業者

産業廃棄物処理業者



鉄くずやプラスチックなど、工場や事業所から出る廃棄物（産業廃棄物）を処理する事業者

再生油脂業者



廃棄された油（18リットル缶入り廃油を含む）を適切に処理する事業者

缶収集業者



缶を再利用するため、汚れの少ない缶を集める事業者

鉄リサイクル業者



廃棄物の中から、鉄などの有用な金属資源を取り出し、シュレッダー処理やプレス処理などを行う事業者

缶再生業者

一度利用した缶を洗浄、加工し、再使用するための処理を行う事業者



鉄として再生利用



再生缶として再使用